

議会だより

No.194

編集：議会広報特別委員会

平成30年度 予算審査特別委員会の報告

同委員会は、3月15日・16日の2日間、細川町長の施政方針として、「バランスとメリハリを考慮しながら活力ある幌加内」「安全、安心で暮らせるふるさと幌加内」を目指すため、幌加内町第7次総合振興計画が確実に実行できるよう予算編成された新年度予算について慎重に審議を行った結果、原案の通り可決しました。

一般会計 歳出

総務費

一般管理費

小関議員

IP告知端末機更新業務委託料について、8113万円で予算計上する経緯を伺いたい。



総務課長

現在使用している機器は、平成23年4月から運用しており7年経過している。機器の更新、補修については5年から7年間のメーカー保障となっているが、既に7年が経過しメーカー側には新しく補給できる部品がないため更新を行うものである。

また、個人が所有しているタブレットやスマートフォン等に配信ができないかを検討し、各家庭での子機を減らし経費削減を図れないか検討している。

道内において機器更新の実施が15自治体あることから、協議会をつくり共同購入または共同構築等できないか検討している。現状の台数を維持するよう予算計上しているが、今後の経過によっては経費が下がっていくものと考えている。

中村議員

町長施政方針の防災関係について、気象警報やミサイル発射の情報伝達に使用する「全国瞬時警報システム」通称「Jアラート」を新型受信機へ更新する予定と述べているが、その部分もIP告知端末機更新業務委託料に含まれているのか。

総務課長

防災関係とIP関係について、気象情報や警報が発令された場合と北朝鮮ミサイルが発射された場合については、国からJアラートでの通報が町に入り各家庭のIP子機端末に流れる仕組みとなっている。

気象情報については、試行段階であり全部を流していないが、ミサイル関係については昨年から国が情報発信したと同時に各家庭に流れるようシステムを組

中村議員

Jアラートに関する機器についても7年が経過していることから更新するよう計上している。



住民課主幹

1億7080万5000円は医療費がかかった分と2款保険給付費と同額となる。納付金は税金、一般繰入金、国・道補助金で賄われており、医療費は道で全て負担することで予算計上している。

春名議員

今まで町が行っていた業務、保険税、病院からの申請業務などは道が一括して行うこととなるのか。



住民課主幹

今までの医療費の手続きや請求については、変更なく本町の窓口で行う。

道から国保連合会に業務委託するが、国保連合会から納付金申請は幌加内町に請求が上がってくることになる。しかし被保険者証の手続き、資格関係の手続き、医療費請求の手続きについては今までどおり変更はない。

中川議員

町税や窓口手続きなどはそのまま本町で行われるが、保険事業の事業主体は道になったと考えて良いか。

住民課長

事業主体は道となるが、事務的には今までと変わらない。

簡易水道事業

特別会計

中川議員

新生生第1・第2地区簡易給水施設解体工事289万5000円であるが、上屋とともに地下部分の貯水槽まで撤去する予定なのか。

建設課長

予算計上している金額については、上屋の分で計算している。しかし、支障がある場合には補正等で下の部分も撤去していく。

中川議員

その施設については、もともと民地だった。

町がその時に買い上げているのか、民地のまま使用しているのか。

建設課長

当時は民地で建設を行っているが、そのままとしており所有者も変更している状況である。このため本町で壊して撤去していく。

田丸議員

償還利子635万円について、昨年より110万円ほど減額となっているが、早期償還とした形がとれないのか。



建設課長

過疎債と簡水債を借りながら施設整備を行っている。基本的に過疎債については、最初の約束ごとの償還内容で返さなければならぬルールがある。しかし途中で借り換え等があり増減することもあり早く返さないといけない場合には返すことになると思われるが、基本的には計画どおり返していく。

議会の様子をホームページで見ることができます！

議員の活動や広報など掲載しています。
議会ページは町ホームページから見るすることができます。